

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501020

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	7 介護保険事業会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	7 高齢者支援の充実	事業優先度	B	
単位施策	1 介護サービスの充実	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	地域支援事業(保健係分)	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	6 地域包括支援センター	
事業指標	介護予防事業参加者数		#N/A	
事業目標	10%増	ハート/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 介護保険法	
住民協働		関係個別計画名	1 介護保険高齢者保健福祉計画	

全体計画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画内容	要介護になるおそれのある高齢者を把握し、介護予防に資する事業を提供することにより、要介護者の増高を防止し、高齢者の福祉の向上を図る。	○介護予防一般高齢者施策 ・介護予防手帳の交付 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業等 ○介護予防特定高齢者施策 ・栄養改善事業 ・口腔機能向上事業 ・うつ予防訪問事業等	○介護予防一般高齢者施策 ・介護予防手帳の交付 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業等 ○介護予防特定高齢者施策 ・栄養改善事業 ・口腔機能向上事業 ・うつ予防訪問事業等	○介護予防一般高齢者施策 ・介護予防手帳の交付 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業等 ○介護予防特定高齢者施策 ・栄養改善事業 ・口腔機能向上事業 ・うつ予防訪問事業等	○介護予防一般高齢者施策 ・介護予防手帳の交付 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業等 ○介護予防特定高齢者施策 ・栄養改善事業 ・口腔機能向上事業 ・うつ予防訪問事業等	○介護予防一般高齢者施策 ・介護予防手帳の交付 ・老人クラブ健康相談、健康教育事業等 ○介護予防特定高齢者施策 ・栄養改善事業 ・口腔機能向上事業 ・うつ予防訪問事業等
	事業費(千円)	4,340	868	868	868	868
計画事業費	財源内訳					
	国庫支出金	1,085	217	217	217	217
	道支出金	540	108	108	108	108
	地方債	0				
	その他	2,175	435	435	435	435
一般財源	540	108	108	108	108	
実績事業費	事業費(千円)	3,296	229	683	788	857
	財源内訳					
	国庫支出金	825	57	171	197	215
	道支出金	412	29	85	98	107
	地方債	0				
その他	1,575	114	342	395	356	
一般財源	484	29	85	98	93	
関連事項	(特定財源の詳細等) ・地域支援事業交付金(国、道) ・一般会計繰入金	【評価・実績】	(実施内容等) 健康相談他 464名 栄養改善事業 58名 口腔機能向上14名 うつ予防等訪問事業 4名 計548名 ※前年度評価結果	(実施内容等) 健康相談他 485名 栄養改善事業 63名 口腔機能向上 84名 うつ病予防等訪問事業 5名 計637名 ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 健康相談他 489名 栄養改善事業 112名 口腔機能向上 60名 計661名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 健康相談他 667名 栄養改善事業 93名 口腔機能向上 41名 うつ病予防等訪問事業該当者無 計801名 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連(継続有り)	年度目標値	事業参加者数の増	事業参加者数の増	事業参加者数の増	事業参加者数の増
		年度達成率	26%	79%	91%	85%
		全体達成率	5%	21%	39%	56%
		事業進捗状況	☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆

事業名	地域支援事業(保健係分)	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	介護予防事業参加者数	
【抱える課題やニーズは】	加齢に伴う心身機能の低下や家の中に閉じこもりになること等から介護を要する状態になる恐れがある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	介護を要する状態になることを防ぐ	① 介護予防事業参加者数の増加	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	心身の自立性を保持し、健康で活動的な高齢者が増える		目標値	801人
			実績値	789人
			達成度	98.5%
		②	目標年度	年度
			目標値	
			実績値	
		達成度	#DIV/0! %	
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	健康相談・健康講話の実施	老人クラブ会員等を対象とした健康相談、健康講話、運動・栄養講座、調理実習などを実施した。		
	家庭訪問による健康支援の実施	家庭訪問により、健康管理等に関する個別相談を実施した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	高齢社会の進展により高齢者が増大する中、要介護高齢者の増大を防止し、高齢者が健康で活動的に高齢期を過ごす事は高齢者の重要な課題であり、介護予防に資する事業の必要性は高いと考える。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		目標はほぼ達成し、各種事業や家庭訪問等を通じて健康管理、介護予防の重要性の意識向上の啓発及び具体策に関する知識の普及を図ることができた。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		老人クラブ等高齢者団体の協力を得て効率的に事業が実施できるよう工夫するとともに、高齢者対象の他の行事と日程を調整する等により効率的に実施することができた。
効率的/概ね効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	
/課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由		調理実習・試食を実施する事業参加者からは受益者負担を求めている。また、老人クラブ未加入者等にも周知できるよう広報等を通じて広く事業の周知を図る必要がある。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担がある	
/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
目標をほぼ達成し、計画とおり事業を実施することができた。		



継続/現状維持		
地域包括支援センター等関係機関との連携のもと、介護予防事業の実施により、健康の維持と介護予防支援の充実に努める。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止